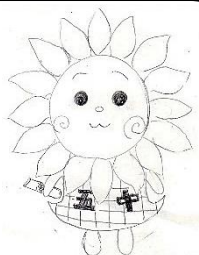


67期生

# 1年生学年だより

豊中市立第五中学校 2019年1月11日(金) No.31



## 人権フェスタ「ひまわり」

### <1年生感想文より>



### 「ひまわり」で学んだこと

- ◇ 人権の大切さ、相手の気持ちを理解する大切さを改めて感じた。
- ◇ 誰にでもやさしく接して、困っている人を助けるということを学んだ。当たり前のように感じるが、行動にうつそうとすると難しいことだと思う。
- ◇ 自分のことだけを考えて行動するのではなく、まわりの人を見て考えて行動する大切さを感じた。今のクラス、友だちを大切に、楽しまないともったいないと思った。
- ◇ 仲間の「ありがたさ」を学んだ。どの学年も人権について考え、行動していこうと五中全体でなっていたと思った。
- ◇ まちを歩いていて、お年寄りがいたり、障害がある人がいたら、今まではちょっとさげたりしていたけど、これからは困っている人がいたら声をかけてみようと思った。
- ◇ 練習のとき、みんなで手話をするとところが、私は所々わからなくなったり間違えたりしていたので、前日にがんばって練習したかいがあって本番では間違えずにできてよかった。
- ◇ 3年生の発表は、クラスごとに漢字にたくさんの思いが込められていてすごいなあと思った。
- ◇ 歌と手話では、話すこと以外にも「話」をすることができる場所は、おもしろいなと思った。
- ◇ あの有名な藤原恭大さんは忙しいにも関わらず、「ひまわり」のために、私たちのために、メッセージを言ってくれた。先輩たちのメッセージを私たちもつなげていきたいと思った。
- ◇ 2年生の発表は、社会に関わる一員に既になっている感じがしてカッコよかった。3年生は、卒業までの残り少ない時間を大切にしたいという気持ちが伝わってきた。
- ◇ 先輩のメッセージでは、自分たちと同じ気持ちの時もあり、今、夢に向かって頑張っているんだなと思った。
- ◇ 人を差別してはいけないこと、みんなとの時間を大切にすることというのを学んだ。



- ◇ いろんな人が見えないところで努力していること。1人1人の成功させたいという気持ちが本番の成功につながる。いろんな人とつながっていること。人に感謝する気持ちを大切にしたいと思った。
- ◇ 1年生だけでなく、他の学年の発表も、やはり1人1人が努力してみんなで協力しないとできないものばかりでとても良かった。
- ◇ 努力をおしまず、がんばれば夢をかなえることや追いかけることは、誰にでもできるということを知った。
- ◇ 今も昔も差別で苦しんでいる人がいること、12月10日が世界人権デーだということを知った。



### これからの生活で頑張っていきたいこと

- ◇ 人とのつながりを大切に、どんな人でもどんな世の中でも手を取り合って進んでいけるようなそんな世界を私たちが作っていきたい。
  - ◇ 道ばたで困っている人がいたら、勇気を出して声をかけられるよう頑張っていきたい。
  - ◇ 2年後卒業するとき、この学年でよかった、この学校でよかったと思える仲間作りをしていきたい。
  - ◇ 仲間とのつながり、横のつながりを大切にしていきたい。
  - ◇ これから、できるだけいろいろな人とつながって、いろいろな人の立場になって考えられるようにしていきたい。
  - ◇ 差別やいじめ、仲間の大切さを改めて意識しながら過ごしていきたい。
  - ◇ 何事も真剣に毎日コツコツと取り組んでいこうと思った。
  - ◇ 人を差別したり、いじめたり、いじめを無視するような人にはならないようにしたい。今からすぐにはできないだろうけど、みんなを平等に判断できるような人になりたい。
  - ◇ 「はみご」や「いじめ」のない学年を作っていきたいのと、誰もが安心して学校に来れたり、学校に来るのが楽しいと思えるようにしていきたい。
  - ◇ 人と人のつながりが大切だと学びました。人と人のつながりは、大人になっても大切だと改めて思った。
  - ◇ 2年生、3年生、先輩たちの夢バトンを引き継いで過ごしていこうと思った。
- みんなの思いを、五中生の「夢バトン」を、まわりの人とのつながりを、大切に・・・。**

